

秋田県大館市 (所在地：秋田県大館市)

事業名

大館市「障がい者の生涯学習」推進事業

事業の趣旨・目的

- ・ 学校卒業後における社会教育施設を活用した生涯学習機会の拡大促進
- ・ 地域連携による持続可能な学びの支援に関する実践研究
- ・ 障がい者が求める生涯学習講座の展開
- ・ 市民(支援者)に対して、障害理解のための講座を福祉部門との共催で開催し、また障がい者と交流する機会を提供することで、障害理解を深化させ、心のバリアフリーや合理的配慮を学び、共生社会の実現へつなげる

主な対象

- ・ 障害者(身体・知的・精神・発達ほか)、当事者家族、支援者、健常者(一般市民)など

事業実施体制・連携先

【生涯学習連携協議会の設置】

【コーディネーターの配置】

【連携先】

庁内連携(福祉課、スポーツ振興課、スポーツコミッション、中央・地区公民館)、市立図書館、比内支援学校、市内高等学校(3校)、社会福祉協議会、市内障害者支援施設(6施設)、スポーツ協会、ほくしか鹿鳴ホール

【ボランティア】

障がい者サポーター養成講座受講者へのボランティア登録者数 R5年度26人、R6年度22人、計48人



事業の取組内容・活動の様子・その他

【連携協議会の開催】(参加者数)

- ・ 7月17日(水)第1回連携協議会(22人)
- ・ 11月7日(木)第2回連携協議会(21人)
- ・ 2月12日(水)第3回連携協議会(21人)

【生涯学習講座の実績】(参加者数)

- ・ 9月22日(日)木育&レクリエーション(22人 うち障がい者5人)
- ・ 10月20日(日)ミニアメリカンドックづくり&ニュースポーツ体験(22人 うち障がい者6人)
- ・ 11月24日(日)青年学級・スポーツ&カラオケ(47人 うち障がい者21人)
- ・ 12月15日(日)そば打ち体験(17人 うち障がい者4人)
- ・ 1月12日(日)なんでも発表会(158人 うち障がい者31人)
- ・ 2月9日(日)スイーツづくり&音楽で遊ぼう♪(20人 うち障がい者5人)

【障がい者の活動を広げる取り組み】

- ・ 図書館利用支援事業(防災減災プレゼンター)
- ・ みんなでスポーツの会(アキュラシー)
- ・ はちくんオープン(ポッチャ)
- ・ 比内公民館ポッチャ交流大会

【みんなのアート展】

- ・ 中央公民館及び地区公民館(釈迦内、長木、上川沿、比内、田代)で実施

【比内公民館と比内支援学校との連携事業】

- ・ 比内支援学校高等部2年生木工班による新春書初め会で使用する杉板の制作

【支援関係者を対象としたボランティア養成講座の開催】

- ・ 8月2日(金)障がい者サポーター養成講座(72人受講 うち同意書22人)

【秋田県との連携】

- ・ 12月26日(木)「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会(2人)

活動の様子を市ホームページにて公開中



「成果」

- 障がい者のニーズ調査と講座企画の反映
 - ・ 就労施設へのニーズ調査及び比内支援学校青年学級への聞き取り調査を実施し講座企画へ反映できた。
- 生涯学習講座
 - ・ 活動を通じて、障がい者と講師や職員との会話やハイタッチなど交流が生まれた。
 - ・ 一部講座とんでも発表会にボランティア登録者48人のうち6人(のべ7回)の協力があつた。
- 社会教育施設の取り組み
 - ・ とっと工房、大館市手をつなぐ育成会の利用者が制作した作品等を6公民館に展示し発表の場を設け広く市民に周知できたほか、作品制作者の自信につながるものとなった。
- 障がい者の活動を広げる取り組み
 - ・ 図書館利用支援事業、みんなでスポーツの会、はちくんオープンなど障害のある方もない方も交流しながら活動を広げるよい機会となった。
- 障がい者サポーター養成講座
 - ・ 受講者に対し講座への協力を呼びかけ、参加者72人のうち22人から同意書の提出があり、ボランティア登録者はR5-26人、R6-22人、計48人、障がい者を支援する体制づくりにつながった。
- 「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会
 - ・ 来場者に対し大館市の取り組みを掲示や動画で紹介、他団体との交流と今後のつながりが生まれた。

「課題」

- ・ 障がい者の参加者同士のつながりの構築
- ・ 障がい者の方にも参加してもらえる取り組みが必要
- ・ 障がい者を支援するボランティアの増員

